

服薬管理の困難さと関連する要因に関する調査 アンケート用紙

- このアンケートは、表紙を含めず7ページです。
- 回答には正解も不正解もございません。回答者ご自身の個人的なご意見を自由にご回答下さい。
- 調査の結果は、集計した物を使用し、個人や所属を特定することはございません。
- 質問によって、一部の方に回答していただくものがあります。説明に応じて、ご回答をお願いします。特に説明のない質問は順番どおり次の質問にご回答下さい。
- 回答の仕方は、あてはまる番号に○をつけるものと、必要な事柄を書き込むものがあります。
- ご回答頂いたアンケート用紙は、封筒に入れ、指定の看護師にお渡しください。
- ご回答頂いたアンケート用紙は匿名化して入力作業を行います。個別の回答内容を主治医及び担当看護師が見ることはありません。
- 本調査の回答が集まりましたら、結果をまとめて、外来にて皆様にお渡しする予定です。

この調査の目的

HIV 治療において、不完全な服薬はウィルス量を抑制し、病気の進行を抑えることが困難となるだけでなく、薬剤耐性を持つことから、確実な服薬が必要です。一方で、抗 HIV 薬は一生継続して内服することが必要であり、副作用も伴いやすいため、HIV 治療において服薬管理は非常に重要です。患者様が良好な治療を継続できるように支援することは、保健医療関係者の重要な役割です。

そこで、私どもは、HIV に感染された患者様を対象に、服薬継続の困難さとその関連要因を明らかにし、効果的な支援方法を検討することを目的に、調査を行っております。

本アンケートへの皆さまのご回答は、今後の患者様の服薬支援について考える際の大切な資料とさせていただきます。どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。



※ アンケートに関してご質問がございましたら、ご遠慮なく主治医か担当者にお問い合わせいたします。

皆様の声を聞かせて下さい！



主治医：沖縄県立南部医療センター 豊川貴生（とよかわたかお）
電話番号 098-888-0123
担当者：琉球大学医学部保健学科 當山紀子（とうやまのりこ）
メールアドレス：tokinawa2017@yahoo.co.jp

<お願い>

- ◆ 本研究では、服用されている薬品名や病気の状態を把握するため、診療情報を利用させて頂きたいと考えております。診療情報の利用について同意頂けますか。該当する番号に○をつけてください。

1. 同意します
2. 同意しません